

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

第35回

3号

2023.8.23 発行

編集 広報部

ホームページ <https://kantoacco.omiki.com/>



☆昨年12月からホームページのURL、また5月からQRコードが変わりました。

9/17 第35回 関東アコーディオン演奏交流会 《独奏部門》 目標を上回る67名が出場！

10:00 開始

- カテゴリーごとの出場人数は2ページに記載
- 観客として聴きにきて下さる方大歓迎です！「メッセージカード」を使い、演奏者を励ますことが出来るのも楽しみの一つとなっています。



イラスト/後平

目次

- 出場申込み者内訳/参加協力券普及のお願い...2P
- 実行委員近の況報告...3P
- ふれあいこんさあと Vol.37...4~8P
- JAPC アコーディオン夏祭り 2023...9~11P
- みやぎ『アコーディオン仲間』のつどい...12~16P
- 平和コンサート 2023(川崎市)...17P
- バルミュゼット 巴里東京 2023...18~19P
- 東部教室発表会/実行委員募集案内...20P
- ホワイトボード...21~22P

第35回関東アコーディオン演奏交流会 出場申込み締め切りました。(7月31日)

《申込み参加状況》

◇ジュニア：2名 ◇初心者の部A：4名 ◇初心者の部B：6名 ◇シニアの部A：1名
◇シニアの部B：17名 ◇一般中級の部：30名 ◇一般上級の部：7名 (合計67名)

今年は、実行委員会で立てた目標(60名)を越える方の参加状況となりました。

かつて、70名を超えた年もありましたので、それに次ぐ人数ではないかと思えます。教室やサークルの指導者、並びに声を掛けてくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。

香川県、京都、静岡県、宮城県と遠方から申込みされた方もおります。また、91歳と高齢の方も申込みされております。

本番まで丁度一ヶ月となりました。出場者の皆様は健康に気をつけて、本番の9月17日はベストコンディションで練習の成果を響かせてください。

皆様の演奏を楽しみにしております。



アコーディオン仲間の演奏を聴きに行きましょう！

今年は目標以上の方が演奏されます。

出場を見送られた方も、日頃アコーディオンで演奏されている方々がいろいろなジャンルの曲を演奏されると思います。他の人の演奏を聴くことはご自分の練習にも大変参考になることでしょう。

当日は、「メッセージカード」をプログラムに入れさせていただきます。気に入った演奏、あるいは、良かった点、感想など書き込んで演奏者の元に届けるカードです。このように演奏者を励ますことでも参加出来ます。(受付にも用意するので足りない方はご利用ください)

9月17日(日)は午前10時スタートです。教室やサークルの仲間、また、お友達など誘い合せてぜひ応援にお越しください。

※聴きに来られる方は「参加協力券」1,000円が必要です。(当日受付で購入可)



よろしく願い致します

☆参加協力券の普及にご協力下さい。

夏休み中でもあり、友達と連絡が取りにくい時期かと思いますが、本番まで約一ヶ月余りありますので同封の券をご活用いただき、多くの方が聴きに来て下さるよう周りの方に是非広めて下さい。

♪ 学びあうためのコンクール ♪

第35回関東アコーディオン演奏交流会

2023年9月17日(日) 開演10:00 (開場9:30) 参加協力券1,000円
【会場】北区滝野川会館大ホール (北区西ヶ原1-23-3)
JR京浜東北線「上中里」駅東口より歩7分
JR山手線「駒込」駅北口より徒歩10分
東京メトロ地下鉄南北線「西ヶ原」駅より 徒歩7分
連絡先: 塚本 044-877-9871

見本

精算済み
 当日精算

担当 _____

7月実行委員会 7月17日(月・祝) 19:00～ Zoom会議

出席者：浅川 池田 石橋 宇野 岡田 小神 織田 乙津 川上 佐藤 塚本 築山

《実行委員近況報告》

川上(埼玉アコーディオン協議会)・・・夏の合宿が恒例だったけれど、今年は、一人一人独奏を弾き合う形になりました。日にちは8月19日(土)午後5時開始です。演奏の参加者は21人の予定です。会場は川越駅から徒歩5分と近いです。

佐藤(音セ・金曜教室/JAA)・・・仕事が多忙でこのところ教室には行けてないので、教室の方は宇野さんからお聞きください。今日は所用でこの後抜けます。次回日程が決まったら後で教えてください。JAAの方は、7月30日開催のサマーフェスタは参加者が集まり締め切りました。これからXmasフェスタに向けた合奏講座に力を入れていきます。

乙津(音セ・南部教室)・・・昨日、地元の平和コンサートで「芭蕉布」「たんぼぼ」(金網の向こうから)「アンパンマンのマーチ」3曲合奏してきました。個人的には、7月15日(土)宮城で行われた「アコ仲間のつどい」を聴きに行ってきました。宮城の仲間も元気でしたので、ニュースで紹介します。

織田(プチマルカート)・・・メンバーはいま4人です。9月3日(日)午前中にメンバーの勤め先(障害者福祉施設)で2回公演し、午後は「かるふる」でミニライブを行うので、その練習をしています。

石橋(音セ・三多摩教室)・・・元からの人7人と新しく入った方2人の9人でやっています。新人さん2人が一緒になって川口先生のレッスンを1時間受けています。その間に元からの7人は自分の指ならしをしています。新人さんのレッスン修了後に元からの個人レッスンが始まるので、全員のレッスンが終わると、先生の指揮で合奏する時間が無くなってしまふから、午後8時になったら残っている人たちでとにかく合奏の練習をする形を取っています。合奏の曲は、メリーポピンズメドレーで「チム・チム・チェリー」「お砂糖ひとさじで」「2ペンスを鳩に」とかを1曲1曲練習しています。私と安藤さんと後藤さんは来年の関東にアンサンブルで、例の「証誠寺の狸囃子」で出るので、“おもしろかったで賞”みたいな賞をつくってくれないかねえといいながら練習しています。

塚本(横浜アコ愛好会)・・・横浜市の活動支援センターに登録しているので、そこから演奏依頼などが徐々に入ってきています。6月26日には青葉区の老人施設で約1時間、二人で二重奏や、ゲーム、クイズみたいなことをしてきました。南部教室も参加した平和コンサート(41回目になる)に参加して「バラの

タンゴ」「キエフの鳥の歌」を演奏。7月19日(水)には堺区区民活動センターからの依頼で午前中1時間演奏します。また9月3日(日)にはメンバーが入院している施設で、彼を励まし回復を願いながら演奏する予定です。

小神(音セ・土曜教室)・・・治療の薬も半分に減らして、体調は日に日に良くなっている感じがあります。パソコンの調子が悪いという人から時々声が掛るので、仕事にも出かけるようにしています。だけど、やっと歩けるぐらいなので、まだアコーディオンは持てない。半年近く弾いてないけれど、練習すれば弾けるようになると思うのでまた始めたいと思っている。

岡田(東京アコーディオン研究会)・・・先週は、数ヶ月ぶりの練習でバスアコが重く感じた。アコ研は「ねこ踏んじゃった」の合奏で苦勞しています。私とは孫に近いぐらいの年齢差の大学生が入られて、若い人が一人入るとずいぶん雰囲気が変わるもんだなと嬉しく思います。

宇野(音セ・金曜教室/ともしび)・・・教室の方は、常時練習に来れるのは4人です。今、合奏は中山先生編曲の「白樺」をしています。個人レッスンは、一人持ち時間が20分ぐらいとれています。

ともしびの方は、お店で常時伴奏に入れる人が増えてきています。

今日(7月17日)、音楽センター東部教室のコンサートを聴きに言ってきました。

浅川(埼玉アコ協)・・・例年やっていた合宿が出来ない代わりに、松永教室の演奏会という形で、今年は独奏で交流する準備が進んでいます。そこしかとれなかったのがこのような時間になりましたが、8月19日(土)午後5時から、川越駅から近い「ウエスタ川越」の小ホールで行います。時間があればぜひ聴きにきていただきたいと思っています。

ウインドバスカーズの方は、7月2日(日)、埼玉文化センター小ホールで全国うたごえ祭典がありました。埼玉アコ協も協議会に入っているので出場要請があり、トップバッターで「エジプトの幻影から踊り」「ジュピター」「ラデツキー行進曲」の3曲演奏しました。とっても好評でした。

築山(三多摩アコーディオンサークル)・・・私たちは月1回の練習で、今月は25日(火)になります。



“ふれあい こんさあと” Vol.37 VIVA;ACCORDION

2023年6月11日(日)PM1:00 開演 松原市文化会館
主催 全関西アコーディオン協会(略称 AAA)ふれあいこんさあと実行委員会

関東アコでも以前は有志 4~5 人でアンサンブルを結成してビバ・アコで演奏したこともありましたが、最近は聴きに行くだけになってはいますが、お互いの企画に広告を掲載し応援し合う形が続いています。昨年に続き今年も聴いてきた第 37 回ビバ・アコーディオンの様子を紹介します。

ロビーでの楽器等展示の様子



【トシボ楽器製作所のコーナー】

・キャリーカートとレインカバーの展示もありました。



【池部楽器鍵盤堂のコーナー】

・小型のボタンアコが展示されていました。2 オクターブ半あるそうです。

別の部屋での【楽譜展示コーナー】 / 【楽器メンテナンスコーナー】



出店は【アンサンブル・ミュージック】展示の一部



【修理・調律 岡田路子さん】

受付の隣には団体からのチラシ、JAA 発行の楽譜、CD などが紹介されていました。

プログラムは、第一部【合奏】(7 団体)から始まり、第二部【独奏】(10 名)、第三部【重奏・アンサンブル】(11 団体)の構成で、各部の間に休憩を入れていました。



開会あいさつ 全関西アコーディオン協会会長・ビバ・アコーディオン実行委員長杉村壽治
『みなさんこんにちは、天候やコロナ禍にもめげず、今日の開催を迎えました。コロナのために練習不足もあったと思います。そんな中で一生懸命練習してきたみなさんです。これからのひとときどうぞアコーディオンをお楽しみください。』(拍手)

《第一部【合奏】》

注記:文中※は司会の紹介から、…は筆者感想。

1番 どい川文化の会アコーディオン教室(大阪)
編曲・指揮:吉田親家

※懐かしい歌を 2 曲演奏します。最初は「大きな古時計」、2 曲目は「山小屋の灯」(昭和 22 年に NHK のラジオ歌謡として放送された曲で時代の流れを感じる今日この頃ですと紹介)

…上着は赤、下は黒の衣装で揃えた女性 8 人でのさわやかな演奏で開演しました。



2番 泉北アコーディオンサークル(大阪)

※結成から約 30 年、会員が多かったときは単独でコンサートを開催できたことも今では懐かしい。ビバ・アコーディオンでアコーディオン好きの方々とふれあえることを嬉しく思います。と、曲は「ラ・スパニョ

ーラ」「ムーランルージュの唄・パリの屋根の下」2 曲とも編曲:吉田親家。

…ムーランルージュの唄の編曲が素敵でした。



3番 ぱすとらあるアコ(奈良)

※毎月2回練習している。最年長(ハーモニカ)の方は90歳。指の動きが十分ではなくなったと、アコーディオンを昔から持っているハーモニカに替えて演奏に参加ですと紹介。曲は「夜明けのうた」(編曲:木下そんき)、「ひょっこりひょうたん島」(編曲:吉田親家)

…ハーモニカは2段に段重ねて、上に下にと飛びけれど曲のテンポに合わせるリズム感は歳を感じさせません。



4番 京阪アコーディオンクラブ(大阪)

※昨年は重奏でしたが、今年は全員ではないけれど4人で合奏できることがとても嬉しい。曲は「ブルータンゴ」と「冬の演歌メドレー／津軽海峡冬景色・北野宿から・雪国」の2曲(編曲:2曲とも小野田幸嗣)は昨年のコンサートで演奏した曲です。今年は11月11日(土)寝屋川市立市民会館でコンサートを予定していると紹介。

…2曲ともベースの刻みが気持ちよく、冬の演歌メドレーは弾き込んでいる様子でマイクなしでも会場いっぱい響いていました。



5番 奈良アコーディオン愛好会(奈良)



※アコーディオンに対してそれぞれ思い入れのある個性豊かなメンバーです。演奏曲は「フニクリ・フニクラ」と「ボギー大佐」(編曲:2曲とも吉田親家)。

…2曲ともトランペットのような響きが素敵です。

6番 関西アコーディオンクラブ。指揮:吉田親家

※今年2月に4年ぶりにミニコンサートを開き、久しぶりに充実感を味わうことができました。

今、暮らしの中で人とのつながりの大切さ、平和や命の尊さを改めて考えさせられます。と1曲目は「この素晴らしい世界／朗読付」そして「いのちの歌」(編曲:秋本結衣)

朗読…最近、若いやつは俺にこう言うてるんだ。この素晴らしい世界ってどういう意味なんですか、この世界に戦争もあり、飢え死にする人もいるし、環境破壊もある。このところが素晴らしい世界なんですか。まあ、このじいさんのいうことに耳を貸してくれ。(…中略…)俺が言いたいのは、愛だよ、愛。それが秘訣なんだよ。もしもってみんながお互いに愛し合ったらたくさん問題なんて解決される。そして、世界はとびきり面白くなる。だからこの老いぼれは言い続けるのさ。What a Wonderful World この素晴らしい世界を(ルイ・アームストロング)

…1曲目はこんな朗読から始まった。衣装も上は鶯色で揃えて演奏。2曲とも時間がゆっくり流れて語りかけるような演奏です。2曲目のバスアコの音も印象に残ります。(写真は1曲目の様子)



7番 松原アコーディオンクラブ

※松原アコーディオンクラブは部員14名、毎週土曜日の午後この会場、松原公民館で練習していて、独奏、重奏、合奏など楽しんでいきます。1曲目は四重奏で「宇宙戦艦ヤマト」そして2曲目は14人で合奏「四季」より「春」第1楽章。(編曲:2曲とも吉田親家)(2曲目は指揮:吉田親家)です。

「合奏は仲間の音を聴きながら自分も楽しむということですよ」と紹介されて演奏。

…衣装も上は若草色で春の装い。ホールにはいろいろな小鳥の賑やかにさえずりが聞こえてきます。



(写真:2ページ右下は2曲目の様子)

.....休憩.....

第2部に入る前に、お祝いのメッセー紹介。

□長い間交流の機会は閉ざされておりましたが、このたびのヒバ・アコーディオンの復活は嬉しい限りです。やはり、生演奏の醍醐味は素晴らしいと思います。(JAA 松永理事長)(拍手)

お知らせ...□修理工房の近くにアコーディオンのサロン(アコーディオンに特化した場所)をオープンすることにしました。昨年AAA 杉村壽治会長に相談しながらオープンに向けて頑張っています。開店資金が必要なので、ぜひ皆様のお力をお借りしたい。一口5,000円から(一口につき、8月にオープンするサロンで利用できるコーヒーチケット5枚を返礼)プレオープン8月4日(金)喫茶営業のみ。8月5日(土)演奏会、8月6日(日)演奏会を予定。(岡田路子さんから)

《第二部【独奏】》

ここからは右手側、左手ベース側の両方にマイクを置いての演奏になります。独奏の最初は、

出場番号8番 出田 弘樹さん(大阪)

※アコーディオンを始めてちょうど1年が経ちました。人前での演奏は今日が初めてです。練習のような演奏ができるように頑張ります。

曲は「サンライズ・サンセット」(編曲:中山英雄)。

...若干ゆっくりしたテンポだったけれど、音は最後までしっかり出ていました。若い方なので来年が楽しみな演奏でした。

9番 木下 まことさん(京都/宇根章浩教室)小学2年生。

※年長から初めて2年ぐらいになります。初参加です。曲は「ケ・セラ・セラ」

...軽快なテンポでしっかりした演奏にたくさんの拍手と客席から“う～ん”と感心する声が漏れていました。もちろん両手で演奏です、縁の赤いめがねがかわいいお嬢さんでした。

10番 木下 直紀さん(京都/宇根章浩教室)

※9番、木下まことさんのお父さんです。子どもが習い始めたので興味を持ちました。曲は「ザ・エンターティナー」

...小型のポタンアコです。やや遅めのテンポだけど暗譜で弾いていたので、仕事と子育てをしながらきつと毎日練習されたんだろうと思って聴きました。ぜひ続けて欲しいです。

11番 青木 実さん(京都/吉田親家茨木教室)

※高齢者の歌う会、サークルで懐メロ童謡、唱歌の伴奏を、街角のパフォーマンス広場でも演奏してい

る。曲は「マノリータ」(編曲:服部隆次)

...ベースソロの入ったタンゴの曲です。

12番 藤田 紀子さん(大阪/松原智美アコーディオン教室)

※昨年大阪へ引っ越してきました。アコーディオンを習い初めて8年が経ち今はクラシック曲を中心に勉強している。演奏曲は映画「他人の顔」よりワルツ。...ポタンアコできれいに流れる三拍子のリズムでくるくる回る感じです。

13番 寺村 安雄さん(大阪)関西ハーモニカ連盟。

※大阪市内で空襲から逃げ回った体験を持っている。そんな私は、昨年2月、ロシア、ウクライナ戦争以降はハーモニカで反戦歌「ダニー・ボーイ」、「禁じられた遊び」などを演奏してきました。今日は、アコーディオンの皆様に福音ハーモニカの音色を聴いていただきます。演奏曲は「宵待草」(編曲:森本恵夫)と「バルセン・チーノ」(編曲:岩崎重昭)。私が最初に生の音楽を聴いたのは傷痍軍人の弾くアコーディオンでした。

...このような話のあと「宵待草」の演奏。2曲目はハーモニカを2本、あるいは3本でしか重ねての演奏です。上と下を使い分け忙しそうだけれどすんだきれいな音色です。ハーモニカも懐かしい音色で多くの人に愛される理由がわかります。

14番 増谷 登志子さん(兵庫)吉田親家教室/東灘区文化センター

※昨年練習会場が変わり、気持ちを新たに再出発。表現力を豊かにしていきたいと思っています。曲は「インディファレンス」(編曲:吉田親家)

...しっかりした三拍子のリズムで音がはっきりしていてとてもきれいな演奏です。暗譜で演奏されました。

15番 土本 義博さん(広島)

※広島から来ました。ロシア民謡をお聴き下さいと、曲は「黒い瞳」。

...演奏者自身の編曲だろうか、暗譜で、イントロから圧倒されます。元々力のある方で重音を駆使したとても難解な編曲を全身でリズムを取りながらの演奏です。

16番 小野寺 彩香さん(大阪)松原アコーディオン教室

※アコーディオンを弾き始めて10年が過ぎました。今回初めてバッハの平均律に挑戦します。音楽的なことはあまりよくわかっていませんがとにかく指を動かすのがとっても楽しいです。曲は「平均律第1番 プレリユードとフーガ」

...ベースの音に合わせて“タラリ タラリ”のくり返しが続きます。フリーベースでしょうかオルガンのような響きが心地よい。

17番 丸尾 知子さん(神奈川)吉田親家教室
 ※3週間前に左手の中指を骨折してしまい、ビバ・ア
 コーディオンの直前まで指を固定しなくてはなりま
 せませんでした。とてもがっかりしましたが、指使いを変
 えて弾くことにしました。今回はフリーベースアコー
 ディオンで演奏します。

1曲目は牧歌的ながらも神秘的なドビュッシーの曲で
 「小さな羊飼ひ」、2曲目はハチャトリヤンの「少年時
 代の響き」よりトッカータ。どちらも短い曲ですが、今
 回は温かい目で見守ってください。

…2曲目は剣の舞を思わせる激しく動く右手と左手
 の掛け合いのような楽しい曲です。とてもしっかりし
 た素敵な演奏です。

・・・・・・・・休憩(10分)・・・・・・・・

《第3部【重奏・アンサンブル】》

第三部の最初は**18番** (稲村 二一/高橋 美智子)
 東住吉ミニルームアコーディオン教室(大阪)

※4人で始めたアコーディオン教室ですが、今は二
 人に。でもコロナの中でも続けることに意義があり
 の精神で、月に2回の練習をしてきました。時々吉田
 先生の指導を受けています。演奏曲は「荒城の月」
 (編曲:松永勇次)と「ア・ポール・ニューワールド」。

…2曲目はディズニー映画「アラジン」の中の曲なの
 で楽しめました。ア
 コ歴も長いのでし
 ょう、息も合っ
 たりとした演奏
 です。



19番休み。 **20番** 辻井 今井 アコとバイオリ
 ン(兵庫)辻居 拓人(アコ)/今井 仁貴(バイオリン)
 ※アコーディオンを始めたときから他の楽器とのア
 ンサンブルをしたいと思っていました。今回初めて挑
 戦します。演奏曲は「Por una cabeza」(首の差で)



…アルゼンチンタ
 ゴの曲として親し
 まれ多くの方が演
 奏しています。ア
 コーディオンはボタ
 ンアコです。

21番 金剛アコーディオン教室(大阪)
 高橋 美智子/池田 俊男

※金剛団地の集会所で始まったアコーディオン教室
 ですが、練習場所
 を橋本市のマッチ
 箱という施設に移
 して5年になりま
 す。毎月1回吉田先
 生の指導を受けて



います。メンバーは5人ですが、介護や仕事などの
 事情から今回は二人での出場となりました。曲は「知
 床旅情」(編曲:伴典哉)と「ジュピター」(編曲:吉田親
 家)

…「知床旅情」はハミングして聴いた方もいたの
 ではないだろうか。「ジュピター」は合奏で聴く機会が
 多いけれど、重奏も素敵でした。

22番 豊中アコーディオンサークル「ポンポコリン」
 (大阪) 山崎 ゆり子/浅井 真由美

※今日は新郎新婦の衣装にしました。この衣装で地
 域の歌う会で演奏した際、私たち、実は…と挨拶しか
 けると客席から一斉に「ええっ〜」と声上がり慌て
 ました。演奏曲は「結婚行進曲」と「Feuerfest Polka」
 (鍛冶屋のポルカ)(編曲:Herwig Prychaer)

…2曲目は初めて聴く曲です。かわいい曲で今にも
 踊り出しそうです。聴いたことがなかったので帰宅
 後検索してみました。大阪音大演奏会2019の動画を見
 ることができました。何と実際に大小二つの金床を
 楽器として「カンチン カンチン」と叩く場面があり楽
 しい演奏です。今年



ビバ・アコを聴きの
 来なければ、鍛冶
 屋のポルカとも出
 会わなかったでし
 ょう。

23番 おかんとおとん(大阪)芝 房子(アコー
 ディオン)/田中 幸男(ギター)

※1曲目の「パリのワルツ」はアコーディオンとギター
 が合っている曲だと思って選曲しました。2曲目は
 「ひまわり」(2曲とも編曲:田中幸男)1970年の映画



「ひまわり」は、ソ
 フィア・ローレンと
 マルチェロ・マスト
 ロヤンニ主演で、
 第二次世界大戦に
 よって引き裂かれ

た男女の悲しい愛の物語と解説。

…牧場の柵にもたれて空の彼方を流れる雲を見つ
 め想いにふけている。そんなちょっともの悲しく郷
 愁を帯びた演奏です。2曲目も夢の世界へ引き込ま
 れていくような映画のシーンを思い浮かべながら聴
 いた方もいたと思います。

24番 毎日文化センター アコーディオンを楽し
 もう(大阪)望月 悟郎/澤山 輝彦/西森 郁郎

※アコーディオンで楽しもう講座で集まった3人。テ
 クニックは上、中、下とバラバラで、三人で練習を始
 めるとリズムが合わず転んだりしながらもなんとか
 重奏ができるようになってきた仲の良い三名と紹介。
 …1曲目の「日曜はダメよ」で司会の紹介にあったよ

うに演奏が始まると確かにリズムが合わなくなって一度ストップ、途中から弾き始める場面があったけれど、弾き直してからは気持ちが落ち着いたのか最後まで流れて温かい拍手もあり会場はアットホームの感じでした。2 曲目「ふるさと」は二重奏。3 曲目の



「素敵なあなた」は、三人でたくさん練習したんだろうと思います。軽快なテンポに乗っていました。

25 番 NHK 文化センター 京都教室(京都)

伊吹 知江子/杉村 壽治/藤田 美典

※普段は 5 人で練習しています。テクニックは様々違いますので、教室というよりは同好会のようなグループになっています。杉村先生には特に左手のジャバラの使い方を教えていただいています。今日は



杉村先生と 3 人での演奏となりました。演奏曲は「子鹿のバンビ」(編曲:金子元孝)、「バサメ・ムーチョ」(編曲:杉村壽治)、「この広い野原いっぱい」(編曲:杉村壽治)

ヨ」(編曲:杉村壽治)、「この広い野原いっぱい」(編曲:杉村壽治)

…時には小学唱歌も歌ってみたいくなります。3 曲目の「この広い野原いっぱい」は、後ろに合唱団を配置してうたを入れての演奏などもあって良かったのかなと感じながら聴きました。

26 番 NHK 文化センター神戸教室(神戸)

兵藤 眞規子/井置 泰三/板崎 良子/小野 弘子/石川浩也

※杉村先生の指導の下に昭和歌謡やタンゴ、世界の民謡やクラシックなど、様々な音楽を体験しています。今年も、ビバ・アコーディオンのステージで演奏できることはとっもしあわせです。曲は「希望のささやき」、「ドミノ」、「ロンドンデリーのうた」(編曲:荒木奈緒子)



…1 曲目は右の三人で演奏。2 曲目は左の三人で演奏。3 曲目は全員で演奏。

27 番 パパガイオス(神奈川)丸尾 知子(アコーディオン)/矢田 伊織(エレキベース)

※去年に続き 2 回目の参加です。今年はピアソラの天使の組曲から最終曲の“天使の復活”にチャレンジします。劇的な展開がいくつもあり変化に富んだ作品です。

…静かなベースの刻みで始まり、次第に霞がとれる



と目の前にステージが現れ、ステージの周りに花が咲き蝶が舞い始め小鳥がさえずり始める。そんな情景だろうか。

28 番 ユニット JAPC(東京)真野 照久/小川 正浩

※今年もこの二人が最後を飾ります。コロナ禍の制限が緩和されて、全国各地でアコーディオンイベントが再開されうれしく思います。元気よくコロナを吹き飛ばしたいと、曲は「インディファレンス」と「ザ・キャット」

…2 曲とも、トランペットを思わせる音色が印象に残ります。エネルギーが炸裂、はじける音が素晴らしい。若干の残響があるのでマイクは必要ないほどの迫力でした。



ります。エネルギーが炸裂、はじける音が素晴らしい。若干の残響があるのでマイクは必要ないほどの迫力でした。

《閉会あいさつ》



吉田親家事務局長

『ビバ・アコーディオンは、誰でも参加できるという形でやっております。37 回、コロナの影響で開催できなかった年もありましたけれども、どうしても観客が少ないのは惜しい。今日聴いていただいてアコーディオンついでにいろいろなことができる大変素晴らしい楽器なんだとわかっていただいたと思います。楽器を持ってハイキングに行くこともできます。これからもアコーディオン発展のために頑張っていきたいと思います。今日はありがとうございました。(拍手)

…1 曲目は右の三人で演奏。2 曲目は左の三人で演奏。3 曲目は全員で演奏。

司会 小泉 じゅん子 …出演者、お客様へのお礼の言葉と、「ぜひ来年お越しただくときには、お知り合い、お友達にお声を掛けて来ていただけたら嬉しゅうございます」と挨拶されておりました。

□司会の声は聞きやすく、この原稿作成に当たり大変助かりました。昨年より参加者は増えて少しずつ戻ってきている感じがします。(他でも同じ傾向です)今年も初めて聴く楽しい曲がたくさんありました。ビバ・アコのみなさん素敵な演奏ありがとうございました。(記:乙津)

JAPC アコーディオン夏祭り 2023

2023年7月8日(土) 日暮里サニーホール 開演 13:00

日暮里サニーホールでの開催が恒例となった JAPC アコーディオン夏祭り、今年も楽しみに出かけました。先着 100 名様で準備された会場は満席で開演を迎えた。今回は、アコーディオン独奏、アコーディオン二重奏、アンサンブル（アコ+他の楽器 1 名）いずれかの募集でしたので 1 組最大 2 名での演奏になります。また、マイクは使いませんでした。（写真：主催提供）

《前半》司会 島田彩乃（谷口楽器 アコーディオンインストラクター）

ウェルカム演奏 小川正浩（JAPC 代表）・真野照久（副代表）

演奏曲は「ザ・キャット」。軽快なテンポの力強い演奏で開幕。時々「ミヤー」と猫の鳴き声に聞こえるのは気のせいだろうか。



主催あいさつ JAPC 代表 小川正浩

今回で 11 回目を迎えます。北は北海道から、南は九州福岡から出場いただいております。いろんな曲が演奏されますどうぞみなさん楽しんでいただけたらと思います。コロナの影響で難しい時期もありましたけれども、ようやくアコーディオン界のこのようなコンサートも開催できる運びとなっております。JAPC も試行錯誤しまして、昨年は大ホールを使用しましたが、今年はこちら、最初の時の考え方に戻って開催してみようと無料にしました。

そこでみな様におねがいですが、素晴らしい演奏を聴きましたら受付に募金箱がございます。ぜひご協力いただけたらと思います。それでは最後までお楽しみください。

編集注：文中「・・・」以降は演奏前の司会コメント。演奏者すべてに司会コメントが紹介され、また、演奏終了後は司会が一言インタビューで演奏者に寄り添っていました。

1 番 伊藤久義（ヤマノミュージックサロン有楽町）曲は「ロンドデリーの歌」。

子どもの頃を思い出すようなしみじみとした演奏です。（鶴見アコーディオンクラブにも所属）

2 番 塚越 全（フリー）・・・ボタンアコを始めてかれこれ 30 年になります。レパートリーはクラシック、歌謡曲、何でも。5 月から 10 日ほどアコーディオンをかついでイタリア、ローマまで行ってきました。街角で弾いたり、レストランでも弾かせてもらいました。曲はビートルズの「ペニーレイン」。あまりアコーディオンで弾いている人はいないと思うので、聴いてください。

小型のボタンアコで登場。親子で、時々スキップしながら散歩を楽しんでいるような演奏です。

3 番 梅村 遙（イケベアコーディオン教室・千葉教室）・・・曲は「夢の世界へ」（編曲：夢野圭）。アコーディオンを始めたら絶対弾いてみたいと思っていた曲です。

中型のボタンアコで登場。ベースソロの入った前半、明るい三拍子の中間、コントラバスのボーイングのようなベースの動きと、三拍子の刻みとの対比が楽しい。

4 番 伊藤 悠（パティオはなおか）・・・今回は「ザ・ピーナッツ」のメドレーを演奏します。練習していると娘がリズムに合わせて踊ります。

立奏で「恋のフーガ～恋のバカンス」、演奏者による編曲です。ジャバラの赤い木目調のおしゃれな楽器で演奏。筆者の隣の席では“懐かしいね”とつぶやいていました。

5 番 二重奏 jucgiocy：本田千香（音楽センター大田教室） 須藤範子（音楽センター柴崎教室）・・・2018 年に結成して夏祭りには 2 回出演しました。ボタンアコによるデュオは少ないと思うので続けていきたいと思っています。

青と赤 2 台のボタンアコで、曲は「巴里祭」（編曲/須藤範子）。ソロで聴くのととはまた違った編曲で三拍子のベースの音がしっかりと聞こえて素敵な演奏です。

・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・

《中盤》司会 千葉薫(イケベアコーディオン教室講師) ※後半も同様

6番 サジヒロミ(フリー)・・・アコーディオンは歌が歌いたくて始めました。

ピンク色で小型のアコーディオンです。立奏で腹話術のような手作りの人形「ピンカちゃん」と一緒に登場。曲はオリジナルの「沈まぬ船のうた」。歌いながらの演奏で、歌詞の“ヨーソロ”のかけ声のところはお客さんも「パン パン」と手拍子で参加します。演奏後、一級建築士で、絵本作家でもあると紹介されていました。

7番 菊田淑乃(ヤマノミュージックサロン有楽町) 曲は「My Favorite Things」(編曲: 菊田淑乃)

芝生に寝そべて雲の流れをじっと眺めている姿が浮かんできました。三拍子で聴いたことのあるメロディーだと思ったら、サウンド・オブ・ミュージックの中の曲でした。

8番 大橋隆史(平山尚教室)・・・体調を崩して楽器を持つことができなかつた。練習ができるようになってから間もないのに難しい曲を選んでしまった。またアコーディオンを弾けることを喜んでいきます。曲は「二つのギター」(編曲/Pietro deiro)

ブルーのおしゃれな楽器で演奏。“最後は決めたいね”と弾き直していたけれど客席は温かい拍手で応えていました。

9番 満武 直人(東京アコーディオン愛好会)・・・アコーディオンを始めたのは大学入学してからです、8年ほど前から演奏を向上させたいとプロの先生に師事しています。日頃は近所の歌う会などで童謡、唱歌、懐メロなどの伴奏をさせていただいて余生を楽しんでいます。アコーディオンという趣味を持っていて良かったなあと思っています。曲は「スケーターズ・ワルツ」

プログラムに編曲者名は載っていないけれど素敵な編曲です。スイッチを替えながら三拍子に乗ってきれいに滑っていました。84歳になると紹介されたので、後日伺うと今年10月に84歳になるとおっしゃっていました。

10番 森 美千子(クラシック・アコーディオン・ラボ)・・・一年前この曲を練習していたとき、たまたま出かけた演奏会でこの曲を編曲した関先生に出会い、これから頑張るって弾けるようになりますと宣言したので一生懸命練

習しました。「紙のアコーディオン編集者」(A3用紙を8等分に折りたたんだ作りで、木下隆也氏のアコーディオン留学記や楽器の話、海外のアコーディオンフェスティバルの様子など読むことができる。アコーディオンを扱う都内の楽器店に置かれているので筆者も見かけたときは持ち帰り読ませていただいている)曲は「街角」(編曲/関英昭)

分散和音の入ったおしゃれな編曲です。

11番 小池通子(パティオはなおか)・・・花岡先生から声をかけていただいてJAPCの夏祭りに参加しました。私には難しく今日は緊張すると思います。曲は「DARK EYES」(編曲:Palmer-Hughes)

ベースソロに乗せて分散したメロディーで進行するので難しそうです。聞き慣れた編曲とはまた違っていた。演奏後、司会の問いかけに「アコーディオンは好きな曲をお客様と共有したりする楽しみがあるし、持ち運べるのがいい」と答えていました。

12番 水谷風太(音楽センター・大田教室)・・・今日は期末テストの最終日でした。今年も夏祭りに参加できて嬉しく思います。今日弾く曲は、5月にドイツのクリゲンタール国際アコーディオンコンクール(15歳未満のカテゴリー)で1位を取らせていただいた中の曲です。曲は「ホルベルグ組曲」より1, Prelude、5, Rigaudon」。

フリーベースのボタンアコです。暗譜だけれどほとんど目を閉じていうように見えます。たくさん出てくるベローシェイクは歯切れが良く素敵です。中程で落ち着いたメロディーになりホットしたのもつかの間、もう一度速いテンポの刻みに戻る。隣の席で聴いていた友人は「瞑想に入った気持ちだね」と話していました。

・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・

《後半》

ちょっと時間があるので・・・と前半の司会をされた島田彩乃さんによる「スタイルミュゼット」のサプライズ演奏がありました。

プログラムに戻って 13番 池内光子(フリー)・・・5年ぶりの参加です。サビのところで良かったら手拍子をと、曲は「情熱大陸」。

暗譜で立奏、足に鈴を付けて演奏。お客さんは手拍子で楽しみました。

14番 御所 楓(トンボアコーディオン教室・松本教室)・・・レパートリーが少しずつ増えてアコーディオンが好きになりました。舞

台で演奏するのは初めてで緊張しているけれど楽しんで演奏したい。曲は「Piece Dans Le Style Ancien」

大型のアコーディオンを使い暗譜で演奏。オルガン風の音色が会場に広がり素敵な演奏でした。

15 番 金田 斉 (イケベアコーディオン教室・千葉教室)・・・私がアコーディオンを始めるきっかけとなったのは今日演奏する「Annie-Zette」(編曲: Francois Parisi)です。この曲をステージで弾くのは3回目ですが、先月フランスから到着したばかりのできたこの楽器がどのような音を出してくれるのか楽しみながら弾きたいと思います。

ボタンアコで、暗譜で演奏。三拍子の軽快なテンポで身体をゆらしたくなる素敵な演奏です。

16 番 渡邊道子(トンボアコーディオン教室・松本教室)・・・曲名になっている「PASSION」ということばは情熱と訳されるのが一般的だと思いますが、実はもっと複雑なのかもしれないと思うようになった。

軽くステップを踏む三拍子にあわせて細かい刻みでもはっきりしたメロディーが流れ印象に残る演奏です。この方も暗譜でした。退場の際、「舞台での演奏は何回か出させてもらっているけれど、人前で弾くのはこんなに緊張するのかなと思うほど緊張します。できることならもう1回弾きたいなと思います。」と答えていました。

17 番 柴田 潔 (平山教室)・・・今年3月に他界された坂本龍一さんの曲「ミスターローレンスの音あそび」(編曲: 柴田潔)を演奏します。JAPC アコーディオン夏祭りには初参加です。

演奏者自身の編曲を暗譜で立奏。軽快な旋律ではないので難しいと思うけれど、映画の場面を思い浮かべた方もいたのではないだろうか。

18 番 山地真理(檜山教室)・・・アコーディオンを演奏することで新たな出会いや音楽の輪が広がって楽しいです。今回もピアソラの曲に挑戦しました。左のリズムを大事に、まだまだですが頑張っ演奏しますので聴いてください。曲は「MEDITANGO」(編曲: Eugenia Marini)

ピアソラの曲はどれも難しいけれど、丁寧な演奏で素敵です。

19 番(最後の演奏)アンサンブル「パパガイオス/丸尾知子(吉田教室) 矢田伊織」・・・2年前京都から神奈川に転勤でやってきました。JAPC アコーディオン夏祭りで始めて演奏させていただくことになりました。今日はピアソラの曲を、ベースと、スタンダードとフリーベースと切り替えることのできるアコーディオンで演奏します。初めての参加なので温かく見守っていただければと思います。曲は『天使の組曲』より天使の復活。

パパガイオスさんは、6月11日大阪で開催された「ビバ・アコーディオン」に出演しておられて、同じ曲でしたけどベースと息の合った夢を見ているような素敵な演奏です。今日は、演奏後突然のアンコールにもかかわらず、ダンス音楽だろうか(ラテン音楽で聴くマンボのようなリズム)に立ち上がって踊り出したくなる素敵なアンコールも演奏されました。

閉演のあいさつ JAPC 副代表真野照久

本日はみなさんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。コロナもようやく落ち着きを見せて、こうやって集まって演奏を楽しまれたのは本当に嬉しいことだと思います。こういうことができるようになったことは大変嬉しく思っております。

本日聴いていまして、アコーディオンっていうのはいろんな音楽に、いろんな楽しみ方があるんだと改めて感じました。私も含め今日上手いかなかった方もまた来年もアコーディオン夏祭りがあるかと思っておりますので、その時までまた精進してよりよい演奏ができるようになっていくんじゃないかなと思っております。

また来年も聴きにきていただいて、出演していただいて、それぞれの成長を実感していただけたらと思います。本日は長い時間ありがとうございました。

終了後、記念に撮った集合写真↓



□楽しいひとときの余韻の中、次回を楽しみに会場を後にしました。(文責: 編集部)

Accordion 公開演奏交流イベント みやぎ『アコーディオン仲間』のつどい

2023年7月15日(土) 開演：13：30 会場：東松島市野蒜市民センター会議室

関東アコと交流のある東北の仲間の演奏会に出かけてきました。数日前から秋田県に線状降水帯がかかり日本海側は大雨でした。幸いなことに宮城県は交通機関が止まるようなことはありませんでしたが、車窓から見る沿岸の景色は小雨にけむりきれいな景色はまたの機会の楽しみとなりました。

オープニングは、『石巻ちンドン研究会』のみなさん。チンドン屋といえばアコーディオンは付きものですよねと、「東京ラブソディ」「高原列車は行く」など3曲演奏。鐘、太鼓、クラリネット(石垣好春)、アコーディオン(千田康司)で賑やかな開幕です。



司会(石垣好春)・・・塩釜から来る予定の方、仙台から参加予定の方、幾人か来られなくなった方がいてちょっと淋しいですけれども、ゲストで仙台から琴のみなさんに参加していただきました。他にもいろいろな楽器が出演します。どうぞこれからのひとときを演奏者と一緒にお楽しみください。

開会あいさつ(千田康司)



今日は雨の中お越しいただきありがとうございます。

呼びかけ人のあいさつということですが、石垣先生の人脈で集まっていたところが多いです。コロナ禍で「東北アコーディオンジャンボリー」

が中断状態にあります。遠藤さんが長年培ってきた東北で灯したアコーディオンの灯を消すのはとても忍びないということで、今年は準備期間がなくて難しかったので来年にはぜひアコーディオンジャンボリーを企画したいなどの思いがありました。今回こうやって集まっていたいて、演奏で交流しながら、このあと、みなさんの想い、どんなアコーディオンジャンボリーにしたいとか意見交換していければなと思っております。そうやって来年に向けていろいろ考えていきたいと思っています。

楽器は「ドレ」っていわれれば「ミファ」「ソラ」の上には「シド」がある。上の上には「愛」がある。空の上に死後があるのは死んだ人。生きている人はこれからまだまだアコーディオンで頑張っていかなければならない。みなさんと一緒に盛り上げてまいりたいと思います。(拍手)

司会・・・開会あいさつの中にもありましたけれども、このコロナ禍でそれまで続いていた「東北アコーディオンジャンボリー」というイベントができなくなりました。これまで中心になって献身的に事務局を支えてこられた遠藤勇さんがいらっしやいます。後で自己紹介いただきますけれど、今もバンド活動されています。遠藤勇さんです。(本人立って一礼)

今日はアコーディオン仲間の集いですが、先ほども言いましたようにアコーディオン以外の方にも来ていただいています。そういうことで終了後若干茶話会をしたいと思います。そこでは、名取の活動紹介していただきます。

また、途中休憩を取りますが、休憩の時に、アコーディオンを体験したいというお話があったので楽器を用意いたしました。

《一部》

それでは、プログラム1番 鈴木達哉さんです。プログラムには曲名を載せていないので、演奏者から自己紹介と曲の紹介を行います。

最初の曲は「美しい未来」(訳詞：中山英雄/一部改編鈴木達哉)です。

□アコーディオンといえば、懐メロ、昭和歌謡といったイメージがありますが、私は最初アメリカのピーター・ポール&マリーのようなモダンフォークから中南米のフォルクローレに興味に移り、それでアコーディオンにたどり着いています。

続いて「小さな星が雲に当たった」、「私の村」、「パパの古いバヤン」最後に「長い道を」いずれもロシアの曲をメドレーで演奏しました。

司会・・・鈴木さんはメカに詳しくて、アコーディ



オンの中のことも、そして仙台でも歌声の仲間の伴奏をしてらっしゃる。今日は名取の仲間二人で来ております。アコーディオンは人と人を結びつけるんですね。

続いての方は、先ほどご紹介しましたけれど、宮城のアコーディオン界のことを語るのにはこの人を置いて語れない、東北アコーディオンジャンボリーの生みの親といますか、ずっと中心となって支えておりました遠藤勇さんです。

準備の間、初めての方もいらっしゃるのでちょっとこの地域を紹介しますと、この場所は元々は山でした。この町も全部そうです。この山を削りまして、ベルトコンベアーでこの前の浜の方に土を持って行って埋め立てました。震災で古い野蒜駅の方は壊滅して五百人以上なくなっています。避難所になった野蒜小学校の体育館でも何人かなくなっています。東松島では一番大きく被災したところです。その場所が 12 年目でこのように復活して立派な施設、ここは 2 階の会議室です。ホールは下にあります。今日は会議室だけ 2 つなげてお借りしました。

呼びかけに奥松島と名前を付けさせていただいたのは、ここ野蒜も奥松島の中心地です。ずっと行くと宮戸島という陸続きの島がありますけれども、そこも大きな被害を受けました。4 つの浜のうち 3 つの浜が壊滅しました。私もそこに 9 年ほど務めたので、もしそこに務めていたら天国の方に行っていたかもしれません。本当に一瞬なんですね。

その中で今日も見えていますけれども、佐々木さん、シンガーソングライターで自作の曲を歌って、いまボランティア活動しています。佐々木さんは震災の時野蒜小学校の職員だったんですね。ちょっと条件が違ったら天国の方に行っていたかもしれませんよね。教え子をなくしています。きょう本当は演奏して欲しかったんです。

また、環境保護活動家 C・W ニコルさん (1980 年から長野県を拠点に森の再生活動を始めた。2020 年 4 月 3 日逝去 79 歳) が震災後ここに来て、「素晴らしいところだ、ここに森の学校をつくろう」という提案をしました。ここから少し行くと宮戸小学校と統合した野蒜小学校がありますけれども、ニコルさんは想いがあって、その通りの学校をつくったんです。統合後の校名は宮野森小学校となります。(丘陵地に造成され約 1200 人の被災者が暮らす野蒜ヶ丘団地にある。一部 2 階建ての校舎には東北産の約 5 千本の材木が使われた。/宮野森小学校ホームページより)。準備ができたようです。

2 番 遠藤勇さん・・・今朝は早く起きてのんびりとやってきました。近くて遠いなあという感じがしました。今どこへ行ってもあじさいの花がいっぱい咲いていますけれども、まさにアコーディオンの音色はあじさいの鮮やかな色、さわやかさに似ているなあと思っています。

私は丁度 86 歳になります。ですので、軽いのを持ってやってきました。最近ほとんど吹いていなかったのですが、この日のために練習してきましたけれども、空気を出す口元が緩んでちゃんと締まらない。やっぱり日頃から練習していないとダメですね。今日は、ドボルザークの「ユーモレスク」それから「銀座の恋の物語」そして最後に「ダニーボーイ」を選んでみました。



ドボルザークが戦争中にアメリカで汽車にコトコト乗っているときに、レールのつなぎ目のゴットン、ゴトゴトゴットン、こんな音を聞きながらこの曲が浮かんだそうです。クラリネットの音色は下(ドシラソファミ)の方が好きなんです。とクラリネットで 3 曲演奏。

司会・・・神奈川からわざわざおいでいただいた方をご紹介します。乙津さん達は関東アコーディオン演奏交流会というのを毎年続けておられます。千田さんもそこに参加して何回も演奏しています。とてもいい交流会ですけれども、その広報を担当されています。

乙津(筆者)・・・関東アコーディオン演奏交流会は今年で 35 年になります。今演奏された遠藤さんとは、関東アコを始めるようになってしばらくしたら遠藤さんも実行委員として顔を出すようになり数年間一緒に活動していました。遠藤さんにご都合があつて故郷の仙台に戻られました。仙台では楽しんでいたアコーディオンを演奏する場が無くなって、それならば大変だけれども仲間を集めて仙台でもアコーディオンの演奏を楽しめる場をつくらうといろいろなところに話しに行かれて準備に 2~3 年かかったと思います。そのような努力が実り、2007 年 11 月「第 1 回東北アコーディオン・ジャンボリー」を宮城県加美町中新田交流センターで開催されました。その後、秋保温泉、福島県二本松市と続けてこられて、第 7 回を 2019 年 11 月(二本松市岳温泉)で開催したのを最後に止まっていた。遠藤さんがかつて一緒に活動していた仲間ということもあるけれど、東北でも大きく育って欲しいという想いがあるので、しばらくは、関東アコでも有志で合奏

に取組み参加していました。今日は私一人での見学ですけれども、今日の様子をニュースで紹介したいと思い楽しみに聴きに來ました。

また、鈴木達哉さんは、関東アコ主催の伴奏講座に参加してくださったことで知り、仙台で開催される「とっておきの音楽祭」という大規模なイベントに今年も出場します。とメールで教えてくださいましたので、昨年と今年2年続けて聴きに行きました。そういう関係で、鈴木さんともつながっております。今日はよろしくお願ひ致します。

司会・・・震災後、横浜アコーディオン愛好会の仲間がツアーを組んで朝6時に横浜を出て、こちらに來て演奏をしてくれるということを3年ぐらいやってくれました。6時間も高速に乗る、それでも、なんとか被災地に音楽を届けようということで、雄勝でもやりましたし、松島でもやってもらいました。ご高齢の方も多かったんですけど、アコーディオンをやっている方は熱い方が多いなあといつも感激しています。

3番 阿部捷正さん紹介・・・続いては石巻のアコーディオン会のレジェンドと言ったら阿部捷正（かつまさ）さんです。阿部捷正さんは、かつて県のメーデー集会で歌の伴奏も務めたことがあり、地元石巻では市民合唱団の団員としても活躍されました。

今日は演奏はしないという堅い決意の基に來られたんですけど、彼は、市民合唱団の活動をずっとやっていたらしゃって、仙台の歌声サロンに通ってアコーディオン伴奏をやっていましたし、独奏もされます。今日はお話だけと言うことです。

□ こういう場をつくっていただいております。次回は頑張ってお練習して弾かせてもらおうかなと思っております。これからもよろしくお願ひ致します。

司会・・・阿部捷正さんと千田さんと私とで震災前から私の家で年に1回交流会をやっていました。震災でそれが途絶えて、横浜アコーディオン愛好会との交流で元気をもらって、私もそうですけど、アコーディオンの音楽にやっぱり惹かれるんですね。この楽器はクラシックから現代音楽まで、民俗音楽からシャンソンから、また、独奏から合奏から本当に多彩な楽器です。今、若い人でも、ドイツとかイタリア、フランスに行ってお勉強しています。ですから、ネット上で見ますと、チャラン・ポ・ランタンさんだけじゃないです、アコーディオン奏者の動画が増えてきていますね。そんなことで4人の方から良い話をお聞きしました。

今日は、地域で音楽ボランティア活動されてい

る方にも声かけしました。ジャンルは違うけども、この方もすごい方です。バンジョー大久保さんと亀井光子さんのユニット（東松島市）です。

大久保さんはバンジョーだけじゃなくて、オーケストラでウッドベースを弾いていました。ドラム、クラリネット。ボーカルの亀井さんはウクレレ、アンデス（鍵盤ハーモニカのように息を吹き込んで音を出す）、カホン、パーカッションなどをなさり、松島のパークフェスティバルにも参加されています。いつ仕事しているのかわからないぐらいと言っては失礼ですけども、喜々として活躍されています。

4番 バンジョー大久保&亀井光子さん



□ 石垣さんから声をかけられて出させていただきました。石垣さんとは毎月第1日曜日、歌声と言うことでやっているバンドです。本当はベースが一人いて、更にギターが入るバンドです。今日は二人なので二人でやれることをやります。

高齢者向けというか昭和歌謡などが多いです。今日はアコーディオンだけでなくいろんな楽器が参加されると言うことで私たちも何か出さなきゃいけないかなと思って、ウクレレとで「リンゴの木の下で」（歌付）。アンデスとの組み合わせで「コンドルは飛んで行く」。仙台の七夕は8月なので、島倉千代子が歌った「七夕おどり」懐かしい盆踊りの歌を選曲しました。

笛の部分はアンデスで演奏、歌いながらの演奏でお客さんも手拍子でガラッと明るくなり、もう1曲「聖者の行進」を演奏しました。（拍手）



司会が替わり木村さんに

□ 私はオープニングのチンドンで出させていただきましたけれども楽器は何もしていません。私もできたらなあともみなさんの演奏を聴くたびに思います。それでも音楽は大好きです。

聴くと勇気をもらいますね。私は、千田さんもバンジョーさんもお客として知っております。地元の演奏家と言うことでいろんなところで元気を

もらっています。

続きまして、5番 石垣さんも参加されている石巻市の「矢本二胡の会」有志のみなさんです。二胡もいろんな音楽に使われています。二胡は鶏の鳴き声、動物の鳴き声を出せるんです。

□普段は6名ぐらいいるのですが、今日は二人で、3曲演奏します。最初は私（石垣さん）の独奏で「女人花」（女性の想いが詰まっている感じです）、2曲目は二重奏で「わらび神」そして最後に石垣さんの独奏でテレサテンが歌った「わかれ」を演奏します。高橋さんは二胡を習ってまだ2年目だと聞いてみなさんびっくりしていました。



司会・・・子どもを連れてきたらアコーディオンが好きなのでぜひ触ってみたいという方がおりました。子ども向けではないですがそれでもアコーディオンを用意しましたので、休憩の間にアコーディオンを触ってみたい方は弾き方も千田さんが教えますからぜひ手に取って音を出してみてください。

・・・・・・休憩(体験コーナー)・・・・・・



ゲスト（琴の演奏 我妻久美と「琴クミ」教室のみなさん）

司会・・・我妻さんは佐沼出身の仙台育ち、若いときはスチュワーデスになりたかったそうです。茨城にも教室があって月に何回か茨城に通っています。琴は新幹線では運べないので、自分で車を運転して高速を使って通われている。その他、教会やお寺などでも演奏されています。

□今日はみなさんに琴の音色をお聴かせしてな

ごんでいただきたいと思います。参加しました。

琴は奈良時代に中国の方から渡ってきた楽器ですけれども、中国から渡ってきたときには7弦でしたが、江戸時代になってから13弦になりました。最初は「荒城の月」それから「花かげ」（十五夜お月さま ひとりぼち・・・）あと、井上陽介さんの「少年時代」です。

□松島と言えば、私たち遠足というと必ず松島でした。小さい頃から松島が自分の庭だったようなそんな記憶があります。花火大会、それから遊覧船、とにかくいろんな思い出がありまして、この少年時代を松島のイメージで今日は弾かせていただきたいと思います。



本当に懐かしい町です。叔父たちが松島の初原というところにすんでいたんです。それで家族で松島中学校に通っていて両親が中学校の先生で、子どもたちが生徒で通っていました。叔父が弁当を忘れると「父ちゃん、弁当忘れてるよ」って持って行く。そんな感じで、私たちもよく遊びに行ったりしていました。そんな懐かしい街の思い出です。「少年時代」は我妻さんの独奏でした。

《二部》

6番 石垣好春さん

最初の曲は「浜辺の歌」□震災を思い出しますが、オープニングに参加された方も全部楽器を流されました。千田さんは床上浸水、だけど、アコーディオンのみなさん温かいですね。全国から世界から楽器を被災地に送ろうというので、実はもう1台持ってきています。それは私が全然知らない女性、当時67歳の方から被災地に楽器を送りたいと言うことで2台いただいたんです。千田さんはアメリカの若い女性から贈られていますね。感激しました。



次はフランス映画の主題歌「河は呼んでる」、「百万本のバラ」、「ぐみの木」、屋根の上のバイオリン弾きから「陽はまた昇る」を続けて演奏。□アコーディオンは独奏もいいのですが、歌の伴奏でも使いますね。歌声喫茶といえばアコーディオン、アコーディオンと言えば歌声喫茶。私はずっと主に

伴奏をやっていました。ところがコロナになって歌声喫茶ダメって言うことになっていよいよ独奏



をやることになった。元々は伴奏なので、だから二度と同じ伴奏はできない。ジャズと同じなんです。ということで、最後に歌いながら「世界は二人のために」を演奏。会場からコーラス

でハーモニーを入れていた。

□一言だけ言わせて頂くと、アコーディオンは私にとっては救世主というかアコーディオンと出会わなかったらきっと私は他の楽器をやらなかったと思うんです。私小学校の教師をしていたけれど、ピアノをやったことがないので、卒業式にどうしたかというと在校生が卒業式の伴奏をやりました。そんな時にアコーディオンの上手な人と出会って、コード、和声学を勉強して弾くようになったんです。そういうことがあって、アコーディオンがなかったらきっと私の音楽人生は貧しいものになっていたと思う。ということで、アコーディオンをみなさんにお勧めなんです。小さい人にはピアノもいいけれどアコーディオンをお勧めです。

司会・・・いろいろなものに興味がわいても、なかなか自己流でここまでこなすのは相当努力されたんだろうと思いますけれども、

石垣・・・子どもたちの前で弾くのはとても勉強になる。子どもたちが歌ってくれるのが励みになるし、だから私は恵まれました。

7番 千田康司さん。最初の曲は「La Boubounette」

(6月3日の音楽センター柴崎教室の発表会で演奏した途中にラップを加えた楽しい曲)

□このラップ(写真:足で踏んでいる)で「パフ」がやりたくて選んだ曲です。アコーディオンを始めたのは30歳頃で、その前はキーボードとかいろいろやっていたんですが、基本的には子どもの時からピアノをやっていて鍵盤に親しんでいたからと



言うことです。最近ウクライナから避難してきた方と一緒にウクライナの曲を弾いています。彼女に歌ってもらって弾きます。

やはり平和が一番ですので一曲ウクライナの曲を弾きたいと思います。曲は「赤いカーリーナは草原に」という曲ですが、ウクライナの国歌は賛美歌なので「赤いカーリーナは草原に」の方が第二の国家と

して親しまれているといわれています。日本でも合唱団が歌っています。歌いながらの演奏でした。

□私、音楽川柳という2冊目の本を出しています。「影と海と風」風はアコーディオン、昨年CDと一緒に作りました。うしろにCDが置いてありますので帰りに持って行ってください。但し、この後に茶話会を行うので御茶代としてカンパをいただけるとありがたいです。

さて、最後のクイズです(クイズは3つあった)。〇〇がきっと私のゼロ番地。先ほどの石垣先生の話がちょっと絡んでいます。答えは「震災」。震災



でアコーディオンが水没してだめになったと言うことが間接的にありますけれども、川柳は自分の気持ちをうたう、景色とか情景、ユーモアとか自分の気持ちを伝えるのが川柳ですと、趣味の川柳を紹介。最後はチャップリンに扮して「ラグタイム」を演奏しました。

司会・・・千田さんは一輪車に乗ってアコーディオンを弾くなど大道芸もやっているんですよ。(会場から:「始めて見ました」の声)

司会・・・最後になりました。今日楽器を持っていない方も、体験用に用意した楽器で参加してください。それから歌で参加していただいても良いですから「見上げてごらん夜の星を」を歌ってお開きにいたします。

演奏はこれで終わりますが、この場で時間の許す方は残って茶話会が行われました。



(後日主催から届いたメール)・・・出演キャンセルもあり参加者は少なかったのですが、その分一団体20分の枠を確保できました。当初目標の「学びと交流、仲間づくり」が少しできたのではないかと思います。」

◇演奏の合間に語る出演者のことばは、切り離すと今回のつどいは伝わらないだろうと思いましたが紹介しました。

宮城の皆さんお世話になりました。(記:乙津)

第41回みんなでつくった平和公園 みんなでつくろうコンサート2023

2023年7月16日(日) 川崎市中原平和公園野外音楽堂 開演：17：00

かつて米軍基地だったこの地が平和公園に生まれ変わって41年、私たちは始めから参加していたわけではないけれど、筆者の所属する音楽センター南部教室、横浜アコーディオン愛好会、鶴見アコーディオンクラブはいつしか有志でアコーディオン合奏に取り組み、参加するようになっていた。開演は午後5時ですが、夏の日差しの中、客席は屋外なので汗をかきながらの演奏です。

オープニングファンファーレはトランペットで「青い空は」奏者は松平晃さん。
横浜アコーディオン愛好会は2番目の出演で、「キエフの鳥の歌」（編曲：関英昭）と「バラのタンゴ」（編曲：石井庸介）を演奏。↓「キエフの鳥の歌」の演奏 「バラのタンゴ」の演奏↓



6番目の団体「ちゅらリンク」（沖縄民謡&ポップス）は「満天の星」「月桃」「ひやみかち節」を演奏。ピアノ・フルート・歌/ウィンドチャイム/三線・アコーディオン（佐藤優美子）の編成



筆者の所属する音楽センター南部教室の出番は10番。曲は「芭蕉布」（編曲：清村杜夫）、「タンポポ」（編曲：吉田親家）、「アンパンマンのマーチ」（編曲：石井庸介）アンパンマンのマーチ↓



1団体の持ち時間は10分。他には女声合唱、混声合唱、独唱、太鼓、ハンドベル、サクソなど計17団体が演奏。エンディングは被爆者のお話、拍手でアピール採択。最後は、全員で「青い空白い雲」より第5楽章歌と平和の行進を歌い平和コンサートは終了となりました。

(記：乙津)

バルミュゼット巴里東京 2023

2023年8月5日(土) 14:00 START 公園通りクラシックス



公園通りに面したクラシックスの表示



スロープを地下駐車場へ降りると右手に赤いドアの入り口がある。

演奏者紹介

- ♪Rie (巴里在住: アコーディオン・歌)
- ♪松本みさこ (アコーディオン) 今年4月にCD発売、東欧の音楽クレズマー中心のCD。
- ♪岩城里江子 (アコーディオン) 昨年すべてオリジナルのCDをリリース
- ♪松尾嘉子 (バイオリン)
- ♪菅原智明 (ギター)
- ♪大島紳之 (バンジョー)
- ♪小笠原崇道 (コントラバス)

オープニングの「サ・セ・パリ」のところは客席もいっしょに歌います。

2曲目は、ワルツ (ステップの指導はRieさん)



Rieさんの解説: バルミュゼットというのはフランスの独特の文化でして、アコーディオンの音楽を中心にしたオーケストラによる音楽で、音楽を楽しみながら皆さんに踊っていただくという趣旨で2017年に開催しまして、今年で5回

目になります。

次はお隣の国スペインの曲を演奏。闘牛場で流れるような曲で、赤い大きな扇子を持って踊った方は慣れているようでしたが牛役はお客さんです。



初めての参加が半数ぐらい。筆者の隣の女性は4回目だとおっしゃっていました。

続いては「パッション」「ラ・クンパルシータ」輪になって踊るダンス「モリソズ・ジグ」花いちもんめや、オクラホマミキサーのようです。席に座っている方も足踏みで参加します。



.....10分休憩.....

衣装担当者紹介 (やまもとゆみさん)



今回はサーカスとか遊園地とかのイメージでつくっています。移動遊園地というのが公園の中に出来ていて、夏になるとメリーゴーランドとか持ち込んで夏の間イベントをやっています。そんなイメージでこのバルミュゼットとのつながりで出来るかなと思ってデザインしました。

(女性の衣装、男性のアクセサリー、背景すべて担当)

この後三拍子の曲にあわせてバンドメンバーを紹介。(バンジョーはRieさんの後ろに隠れてしまいました。一つ下の写真を参照下さい)



続いてはマーチ。リズムに合わせて足踏みをしたり歩いている感じで“ラ・ララ・ラララ〜”

続いてワルツ (Rieさん作曲) どこか日本的な叙情を感じ、聴いていて筆者は、男はつらいよの、寅さんの顔が浮かんできました。



続いては「ラ・ヴィ・アン・ローズ」(バラ色の人生)Rieさんの歌が入ります。



スペインの曲をもう1曲、会場から白羽の矢



がたったお子さん闘牛士が登場、左手を腰に当ててなかなかの姿に会場から拍手。

続いてJavaに似た曲、そしてアンコールのつもりで「ビヤダルポルカ」と「オー・シャンゼリゼ」。ビヤ樽ポルカはお客さんも大勢踊りの輪に加わり、筆者も隣の女性から誘われてしばしごちない三拍子のステップでしたが、楽しみました。



最後の曲になった「オーシャンゼリゼ」はRieさんは歌い、松本さん、岩城さんは立奏し、“オーシャンゼリゼ〜”とうたう8小節をカタカナ付の歌詞カードを配ってお客さんと一緒に歌い、もう一度メンバーが紹介されて「バルミュゼットパリ東京2023」は幕を下ろしました。



来年は二人のダンサーを呼んで本物のダンスを楽しむ企画を考えているようです。

巴里祭:フランス革命記念日として7月14日に行われる祝祭なので、どうしても夏場の開催となっているようです。去年は、都電荒川線を借り切っておこなわれているので、毎回内容は変えているのかもしれませんが。

「バルミュゼット」巴里東京を聴きに行くのは初めてです。トリコロールのアイテムを身につけて来場とか、踊りもあります。と聞いて、敷居が高いなと思っていたけれど、そんな筆者にも十分楽しい一時でした。記事を読まれる方にその様子が伝われば幸いです。なお、写真を一部主催より提供いただきました。(記:乙津)

音楽センター東部アコーディオン教室発表会
2023年7月17日 馬橋東市民センター 開演：14時

音楽センター東部アコーディオン教室のミニ発表会が、松戸市馬橋東市民センターで開かれました。教室生は現在3名で、講師は関英昭先生です。司会は元教室生の齋藤みどりさんがなさっていて、とても温かいコンサートでした。

プログラム

- 1、オープニング合奏「長崎の鐘」編曲：関英昭 演奏者：原田/尾野/高木/関
- 2、独奏「浜辺の歌」編曲：関英昭
- 3、独奏「涙の流れるままに」編曲：関英昭 演奏者：尾野
- 4、独奏「メリー・ウィドウ・ワルツ」編曲：関英昭 演奏者：高木
- 5、講師演奏 ウクライナ民謡「小さいグミの木・M i l a i a (みらゐあ)」
編曲：柴崎和圭 演奏：関英昭
.....休憩.....
- 6、独奏「満州の丘に立ちて」編曲：関英昭 演奏者：高木
- 7、独奏「白樺 (古いロシアのワルツ)」編曲：関英昭 演奏者：原田
.....休憩.....
- 8、ゲスト出演「この道」「からたちの花」ソプラノ (山田千賀子) 伴奏：関英昭
- 9、講師演奏「ショスタコービッチ作曲ワルツ第2番」編曲：関英昭
- 10、合奏「キエフの鳥の歌」編曲：関英昭 演奏者：尾野/高木/原田/関
- 11、みんなで歌いましょう「夏の思い出」伴奏：関英昭
- 12、教室生よりお礼のあいさつ
- 13、最後に、みんなで「ふるさと」を歌いましょう 伴奏：関英昭



関先生が、ショスタコービッチのワルツ二番を弾き終えると同時に鳴りやまぬ拍手が起こり、ムーンリバーを演奏して下さいました



「関東アコーディオン演奏交流会」実行委員募集中！！

学びあうためのコンクール『関東アコーディオン演奏交流会』はアコーディオン愛好家の皆さんの集まりです。毎年秋に演奏交流会（コンクール）を実施しています。「独奏部門」と「重奏/バンドアンサンブル・合奏部門」を隔年で開催しています。できるだけ多くの、様々な方にご参加いただきたいと毎年活動しています。

《特別な参加資格は必要ありません》…最近では Zoom 会議ですが見学大歓迎！！
実行委員は年間通して募集しています。毎月1回後半の日曜日に Zoom 会議を開催しています。日程はニュース等で事前にお知らせしていますので気軽に見学に来てください。
まずは顔を出して、サークルや教室、ご自分のこととお話しいただけるだけでも！

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

お知らせ

新型コロナウイルスの扱いが 5 月より、季節性インフルエンザと同等の5類に変更されました。今後はライブや演奏会が延期あるいは中止になるケースはなくなると思いますが、関心のある方は、ホームページなどを開いて確認していただければと思います。

♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪

<https://taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

タニグチ・サンデートークを動画で観ることができます。視聴可能な数が増えています。

♪後藤ミホコ氏♪ <http://www.mihoko-goto.jp>

「後藤ミホコ アコーディオンチャンネル」 7月26日更新

◇アコーディオンレッスン No.2(4月にロスアンゼルスに行ったとき録画したもの)

『アコーディオンを学んでいる人のためのビデオをつくってみたいと思っていたことが、今回実現しました。』ゲストとしてロスアンゼルス在住のアコーディオニスト、作曲者の Nick Ariondo を招いています。『どうぞ楽しんでご覧になってください。そして何か参考になることがあれば嬉しいです。』※2回目の今回は、アコーディオンのストラップ(ベルト)について語っています。◇どれだけ自分の身体にフィットするか知ること。(ベルトの調整) ◇ちゃんと合うと顔は鍵盤の上に来る。◇左手首を通すバンドの調整は指がどのくらい出ているか。など視聴できます。

♪ともしび♪ <https://tomoshihi.co.jp/> 出前歌声喫茶のご案内 他

お申し込み受け ともしび事務センター TEL:03-6907-2731 (月~土 11:00~17:00 日曜・祝日
お休み) FAX:03-6907-3812 メール:info@tomoshihi.co.jp

♪田ノ岡三郎氏♪ <http://tanooka.net>

ピアノとアコーディオンとスチールパン! ピアコパン LIVE

日 時 8月26日(土) 14:00~昼公演です。

会 場 吉祥寺サムタイム ◇JR 中央線、井の頭線「吉祥寺」駅北口。サンロード入り、徒歩3分

出 演 ピアコパン/伊澤陽一(スチールパン) 太宰百合(ピアノ) 田ノ岡三郎(アコーディオン)

予 約 ご予約はお店、または tanookasaburolive@gmail.com までお早めをお願いします。

♪牧田ゆき氏♪ <http://www.planet-y.co.jp/makita/>

♪かとうかなこ氏♪ <http://www.katokanako.com/index.html>

日 時 9月2日(土) 【大阪】Dbar 開場 17:00 開演 18:00

◇阪急「茨木市」駅下車。東口より徒歩2分(フタバアレイビル3F)

出 演 かのとしこ(鍵盤アコーディオン) かとうかなこ(ボタンアコーディオン)

料 金 2,800円 当日 3,300円 ※別途、2ドリンク代として(又は1ドリンク+1フード)1,000円

予 約 ホームページの予約フォームから予約。 [予約フォーム](#)

♪アコーディオンライブ♪

日 時 2023年9月2日(土) 開場 13:30 開演 14:00

会 場 サマータイム◇小田急線「玉川学園前」駅南口より町田方面へ線路沿い真っすぐ徒歩5分

出 演 小林拓美(アコーディオン) 渡井照美(アコーディオン)

演奏曲 【デュオ】エル・チョクロ さんぽ オブリビオン summer time

【ソロ】乾杯の歌 ラ・ツインガナ パリの空の下 他

チャージ 2,000円(1ドリンク付き)

問合せ のんびりアコーディオン <https://accordion-to.jimdofree.com/>

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪Luann「お楽しみ Music Box」♪

日 時 2023年9月27日(水) 開場 18:00 開演 19:00

会 場 中目黒楽屋(ライブハウスレストラン) ◇地下鉄日比谷線、東急東横線「中目黒」駅正面
口から、信号を渡らずに(山手通り)を右に行き、ドラッグストア「ココカラファイン」を右に曲
がり(目黒銀座商店街)4,5分進む。右手にあるガラス張りの
ビル、エントランスの中、1階。

出 演 千葉薫(Acc1. Pf.) セッキー・マクラスキー(Acc2.)
Seimei (Perc) 他

演奏曲 パリミュゼット、ルーマニア民俗舞曲、映画音楽等

詳 細 一音一会でボンジュール! その場所が、そこに居合わせた
人々にとって暖かい時空間になることを願って奏でます。

M C 3,000円(+1オーダー)

問合せ musicrakuya@gmail.com Tel/Fax 03-3714-2607
<https://bigmamaluann.wixsite.com/main>
Tel:080-4946-2713(ビッグママ・プロジェクト事務局)



♪大塚雄一氏♪ <http://www.hi-ho.ne.jp/acc-ohtsuka>

Pan Cake Live

日 時 9月29日(金) エスパッソブラジル 開場 18:30 開演 19:30~ 2ステージ

出 演 Pan Cake 小畑和彦(ギター) 原田芳宏(スチールパン) 大塚雄一(アコーディオン)

MC:予約 3,000円 当日 3,500円 +1ドリンク+1フード 予約:エスパッソブラジル

♪Liberte Concert 14th TRIO CONCERT♪

日 時 2023年9月30日(土) 開場 13:30 開演 14:00

会 場 豊中市立文化芸術センター アクア文化ホール ◇阪急電車宝塚線「曽根」駅より徒歩5分

出 演 中村美澄(ピアノ) ミヤタコーヘイ(チェロ) 山地真理(アコーディオン)

プログラム おくりびと チャルダッシュ ブエノスアイレスの冬 ブエノスアイレスの夏 他

料 金 全席自由席 一般 1,900円 学生(高校生以下) 1,500円

チケット 会場のチケットオフィス 06-6864-5000 チケットぴあ Pコード 245927

問合せ リベルテ事務局 080-9354-4718(担当/中村)

♪スイスヨーデルの風♪ ホームページ www.jodel.tokyo

日 時 2023年10月6日(金)【昼公演】開演 15:30(開場 5:00) 【夜公演】開演 19:00(開場 18:30)

会 場 四谷区民ホール ◇東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」下車徒歩5分

出 演 伊藤啓子 アムスレ・クヴァンテット 東京ようでる合唱団

ゲスト リザ・シュトル シドラ房子 グシュティ・シドラ

♪第15回千葉アコーディオンコンサート♪

日 時 2023年10月15日(日) 開場 13:30 開演 14:00 ■入場無料

会 場 千葉市美術館 さや堂ホール ◇JR「千葉」駅東口より徒歩15分/京成千葉中央駅から
10分/千葉都市モノレール葭川(よしかわ)公園駅より徒歩5分

演奏曲 椰子の実 枯葉 ある恋の物語 日本民謡メドレー ニューシネマ・パラダイス 他

合奏指揮 森 陽介

問合せ 東谷(090-7278-3607) <https://accordionchiba.jimdofree.com/>

■第35回関東アコ8月実行委員会 2023年8月20日(日)19:00~Zoom会議予定